

腹部超音波検査について

臨床検査科

超音波（エコー）検査とは

超音波とは

人間の耳には聞こえない高い周波数の音波のこと

一定方向に直進し

何かにぶつくと反射する性質がある



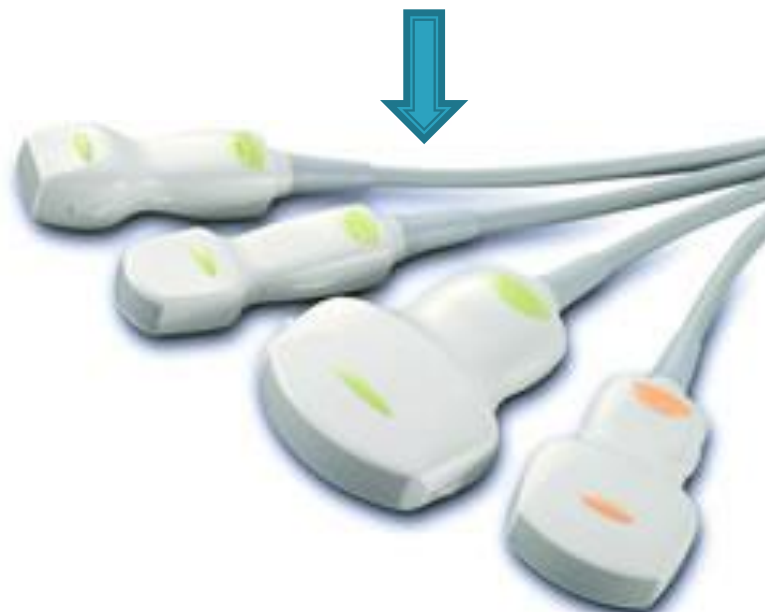
この特性を利用して

体の内部を映像化して
診断する検査



← 超音波診断装置

探触子
(プローブ)

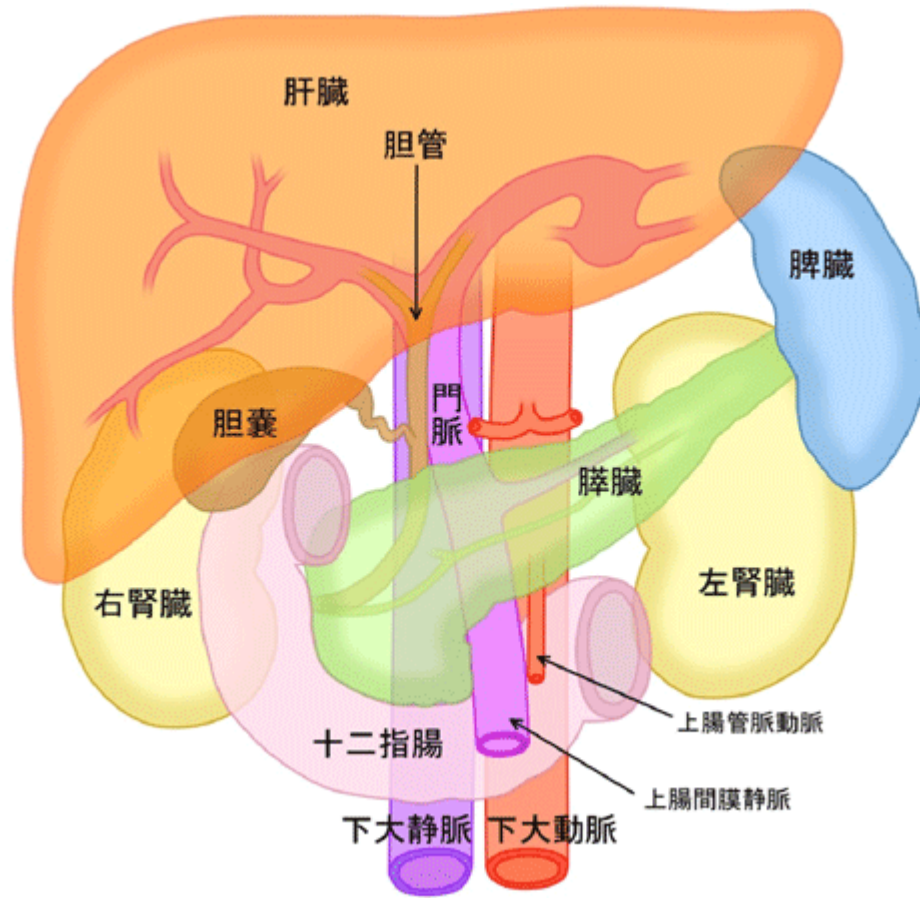


どうやって検査するの？



- 体の向きを変えたり、息止めをしてもらったりします
- 器具を直接体にあてて検査します
- 画像を見るため、部屋を暗くして検査します

どんな臓器が見えるの？



肝臓
胆のう
膵臓
腎臓
脾臓

大動脈

膀胱
前立腺
子宮
卵巣

どんな時に検査するの？

人間ドックなど健康診断

お腹・背中が痛い

体重減少

発熱

血尿が出た

腹部ぼう満感

血液検査で異常を指摘された

B型・C型肝炎(+)

腫瘍マーカーが上昇している

肝機能異常・脂質異常

エコーの利点と弱点

- 利点
 - 非侵襲性：放射線のように被曝がなく、
繰り返し検査をする事ができる
 - 簡便性：機械があれば、どこでも検査できる
- 弱点
 - 肺など空気を多く含む臓器は検査できない
 - 脂肪は跳ね返す力が強く、
肥満型の人には良い画像が得られない
 - 体型によっては見えにくい場所がある

腹部エコー検査を受ける際の注意点

- 絶食でお越してください。
午後からの検査の時は朝食を軽く早めにすませ、最低4時間はあけるようにしてください。
- 腹部にゼリーをつけて検査をしますので、ボディースーツなどは避け、着脱しやすい服装でお願いします。
- 下腹部(膀胱・前立腺・子宮・卵巣)を検査する場合は尿をためておいて下さい。